

## 研究に参加される方へ

当院では細菌感染迅速診断法の確立のための多施設共同研究に参加しています。この研究は、細菌感染を迅速に診断する新しい方法を確立するために行われています。

### 【研究課題】

細菌感染迅速診断法の確立

### 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学

研究責任者 星 和人・東京大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学・教授

担当業務 データ解析

### 【共同研究機関】

研究機関 十和田市立中央病院・米永一理

担当業務 検体採取

### 【研究期間】

承認後から 2018 年 6 月 30 日まで

### 【対象となる方】

承認後から 2018 年 6 月 30 日の間に、十和田市立中央病院で菌培養が必要と診断された方

### 【研究の意義】

現在、菌の感染を検出する方法として、細菌培養が行われていますが、検査には、時間(24時間~1週間)、コスト、手間がかかり、簡便に行うことができません。また、感染症の起炎菌を即座に判断できることは、抗菌薬の適正利用にとっても望ましいことです。

### 【研究の目的】

本研究は、医療現場において、迅速な検出が望まれている菌を研究対象とし、インフルエンザウイルス検出キットのような簡易型の細菌感染迅速診断法を確立することを目的としています。

### 【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部および共同研究施設の十和田市立中央病院の倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長および十和田市立

中央病院病院長の許可を受けて実施するものです。十和田市立中央病院で菌培養が必要な方の検体（血液、尿、痰、膿）、および診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査を収集して行います。通常、菌培養を行う際には、余剰となった検体を保管し、菌が同定されれば破棄しています。本研究では、この破棄予定の余剰検体を使用するため、特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。十和田市立中央病院で、試薬により検体を安全な状態に処理した後、東京大学に輸送し、東京大学の研究室で開発された細菌を光らせる試薬を用いて菌の同定を試みます。十和田市立中央病院での実際の培養結果と比較することで、細菌を光らせる試薬により菌の検出ができるかを調べます。

#### 【個人情報の保護】

十和田市立中央病院の患者さんの試料や情報・データは、東京大学に送られ解析・保存されますが、送付前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、厳重に保管します。ただし、必要な場合には、十和田市立中央病院においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行うこともできます。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで2018年12月30日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科感覚・運動機能医学講座口腔顎顔面外科学分野および医用生体工学講座生体情報学分野の運営費や研究費から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。  
尚、研究参加者への謝金はございません。

#### 【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院口腔顎顔面外科・矯正歯科 特任講師 藤原夕子  
住所：東京都文京区本郷7-3-1  
電話：03-3815-5411（内線 36450） FAX：03-5800-8669  
医療機関名 東京大学医学部附属病院  
診療科名 口腔顎顔面外科・矯正歯科 診療科責任者名 星 和人

2018年1月